

# 1 ちば保育士・保育所支援センター

ちば保育士・保育所支援センター（以下センター）は社会福祉法人千葉県社会福祉協議会に千葉県から委託運営され、平成25年8月6日に開設した。無料職業紹介所として設置し、センター長は千葉県福祉人材センター長と兼務である。専任で保育士資格を持つコーディネーターが1人配置されている。センターの開所時間は月曜日～土曜日の10時～18時とし、ほかの職種に就業中や、育児・家事のため平日は時間が取れないなど、様々な状況下にある求職者に対応したセンター運営となっている。

## 1 センターの取組内容

業務内容は『保育士人材バンク』の運営、マッチング、保育職関連者の相談・支援、研修の企画・実施、施設見学会等である。保育士有資格者の掘り起こしを目的とした広報活動に積極的に取り組み、ノベルティグッズの制作、配布を実施し、職員が外部の就職フェアやセミナー、相談会等に赴き、センターの周知を図っている。平成25年度には県内のハローワークが主催する面接会、説明会、セミナーにブースを出展し、5日間で48人の相談者が来場した。また、他団体主催、もしくは近隣の都県で催される就職説明会等に職員を派遣し、保育ブースを設けた4日間で計30人の相談者が来場した。センターに寄せ

られる保育の求人・求職に関する相談においても、コーディネーターが対応している（平成26年11月末時点の累計相談件数：1,210件）。

## (1) 『保育士人材バンク』の運営

平成26年1月よりオンライン機能を持つ『保育士人材バンク』が本格稼働している。「求人情報」「求職者情報」の入力に基づく登録機能と検索機能により、認可保育所の保育職（保育士・保健師・看護師・栄養士・調理師）を対象として情報発信を行っている。平成26年11月現在で有効求職登録者532人があり、登録時にオンライン上で求職者情報（項目は性別・年齢・居住地域・就労状況・所有資格・保育士試験・他資格・希望職種・希望勤務形態・求職希望時期・求職希望地域・給与の希望）の公開の

【ちば保育士・保育所支援センター ホームページ トップ画面】



可否を選択する。

同時期の求人登録は求人件数 230 件、求人数 723 人に上る。登録事業所数は 139 ケ所が登録を承認されている（登録は現時点で認可保育所・児童福祉施設のみとしている）。

【ホームページ 求職者情報画面（公開可の方の数字）】



現在、ちば保育士・保育所支援センターにご登録いただき、求職されている方の地域別の総数を掲載しています。

地域	すぐに就職を希望されている方	いずれ就職を希望されている方	合計
千葉県全体	143名	287名	430名
千葉地域	65名	130名	195名
東葛飾地域	50名	101名	151名
印旛地域	20名	28名	48名
香取地域	1名	1名	2名
海匝地域	0名	4名	4名
山武地域	4名	4名	8名
長生地域	0名	5名	5名
夷隅地域	0名	1名	1名
安房地域	0名	1名	1名
君津地域	3名	12名	15名

2014年12月01日 現在

(2) 講座の実施

平成 26 年度は就職支援講座「保育職働（しょくどう）」を全 8 回開催し、延べ 100 人が参加した（「保育職働」46 人、「保育職働（実践編）」54 人）。講座の内容は就職活動に向

けたガイダンス、改定保育所保育指針の解説、保育現場の実情、保育現場で役立つ手遊びや歌など、いずれも参加者のニーズを踏まえた内容である。開催時間は金曜日の午前 10 時～11 時 30 分という参加希望者の要請に応じた参加しやすい時間帯で設定している。

【保育職働（実践編） 平成26年度9月～10月実施状況】

日 時	9月5日 (金)	9月19日 (金)	10月10日 (金)	10月31日 (金)
	10:00～11:30			
講座名	保育記録の書き方	乳幼児保育基礎	保育現場の実際	保育現場でのコミュニケーション
内 容	指導案・日案・保育記録の書き方	乳幼児期にみられる特徴と保育の仕方	最近の保育事情・保護者支援について	現場で役立つ・手遊び・歌・身体を使った保育
講 師	保育士養成施設 講師			
受講者数 (バンク登録者)	10(6)	13(5)	13(5)	18(4)

また、平成 26 年度は 7 月～8 月にかけて「保育士のしごと就活ミニ講座」と題して、保育現場での接遇・クレーム対応研修を全 4 回開催し、延べ 23 人が参加した。会場は会議室を使い、講師は接遇対応を専門に請け負う民間会社から招いている。ほかに講座の実施はビジネスマナーに特化した内容（ビジネス敬語、マナー向上の基本等）や民間企業の化粧品会社から講師を招いたメイクアップ講座など、就職活動に役立つ実践的なものとなっている。

### (3) 広報活動

センターの広報周知としてチラシ、広報用カード各2万枚、ステッカー2,000枚、ノベルティグッズ（ボールペン：500本、手帳：2,000冊、文具：2,000個、ほかクリアファイル、エコバッグ）を作成した。センターの最寄り駅である千葉駅の携帯時刻表と一緒に配布し、利便性を考慮している。

【ちば保育士・保育所支援センター ノベルティグッズ(ステッカー、メモ用紙)】



### (4) 保育ブースの開設

県内のハローワークで開催される就職説明会に赴き、センターのブースを開設し、潜在保育士の掘り起こしと広報周知に取り組んでいるほか、近隣都県で実施される社会福祉協議会主催の就職フェアにも出向き、保育ブースを開設している。

### 【ハローワーク主催 就職面接会・就職フェアにおけるブース設置状況】

年度	月日	場所	実施名	来場者	相談者	備考
平成25年度	11月15日(金)	ハローワーク千葉	福祉人材就職面接会	95	7	ちば保育士・保育所支援センター保育ブース設置
	1月21日(火)	ハローワーク松戸	福祉の仕事合同就職面接会	84	5	
	1月31日(金)	ハローワーク市川・市川市・浦安市共催	保育と介護のお仕事相談会	23	18	
	2月4日(火)	松戸公共職業安定所	保育のしごと 就職支援セミナー	55	5	保育分野の求人状況や就職活動についてミニレクチャー
	2月18日(火)	船橋市保育士就職支援研修会・合同就職説明会	船橋市保育士就職支援研修会・合同就職説明会	53	13	参加事業所 11/研修参加者 22
平成26年度	5月13日(火)	ハローワーク松戸	福祉人材就職面接会	65	3	ちば保育士・保育所支援センター相談ブース設置
	6月28日(土)	茨城県社会福祉協議会主催/水戸EXCEL	福祉の就職総合フェア		15	
	7月28日(土)	千葉市民間保育園協議会主催/京業銀行プラザ	就職面接会		15	
	9月2日(火)	ハローワーク市川	福祉人材就職面接会	79	15	
	10月2日(火)	ハローワーク成田・佐倉市社会福祉協議会	福祉人材就職面接会	44	3	
合計				498	99	

## 2 センター運営の特徴・工夫点

『保育士人材バンク』の「アプローチサービス機能」は求人事業所側が求職者情報を閲覧し、条件に合った求職者へ向けて就労の意向をアプローチするものである。閲覧できるのは登録時に「情報公開」を可とした求職者情報(氏名など個人情報除く)であり、アプローチはセンターのコーディネーターを介して行われる。求人事業所側が一件の求人について照会できるのは3人まで、回数は月2回までと定めている。これまで90件の利用があり、20歳から59歳までの求職者205人を紹介した。そのうち6人が採用に至っている(平成26年11月30日時点)。

多くの利用者に対してできるだけ気軽に利用してもらいたいという方針から、スマートフォン用のアクセス項目を設定している。さらにコーディネーター通信を随時メール配信し、FacebookやLINE公式アカ

### 【スマートフォン用 センターHP】



▶ 保育士・保育所支援センターとは？

▶ 保育士人材バンクとは？

▶ オンライン登録はこちら

▶ 施設・事業者の方へ

▶ 千葉県福祉人材センター

▶ お知らせ・新着情報

▶ お問い合わせ

社会福祉法人千葉県社会福祉協議会  
千葉県福祉人材センター

●開所日  
月～土曜日 午前10時～午後6時  
(定休日:日・祝・年末年始)  
TEL. 043-222-2668(専用)  
FAX. 043-222-0774

〒260-0015  
千葉県千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル6階  
JR線・京成千葉線・千葉都市モノリール線「千葉駅」徒歩3分

ウントにてセンターの情報を積極的に提供している。

## 3 センター運営の実績

平成26年11月末時点で、オンライン有効求職登録者532人のうち、就職が41人、内定段階が13人、計54人が採用に結びついている。センターの公式ホームページのアクセス数が、開設当初より月平均1,900弱の件数を記録し、累計で約29,500アクセス数に達するなど関心の高さがうかがえることから、ニーズに応じたリアルタイムな情報発信に努めている。実際の保育現場を見ることで、求職への意欲を高める目的から保育所見学会を実施している。平成25年度は3回の実施で39人が参加し、内定者が2人、平成26年度は5回の実施で23人の参加者があった。

### 【オンライン登録者の状況 平成25年8月～平成26年11月末】

有効求職登録	求人登録件数	求人登録人数	就職件数 (報告)
532	230	723	54

## 4 センター運営の課題

潜在保育士の掘り起こしが課題である。どこに何人いるか、把握が難しい。また県内の各地域の求人内容に差が生じ、偏りがある。例えば房総方面は求人が少ない、あるいは東京に近在する地域は給与が高めで、求職者が集中し、近隣地域の雇用確保が難しいなど首都圏のベッドタウン特有の課題がある。